

教えて！Office先生

No.120 [Excel] セルの範囲に名前を付ける方法

■ 機能紹介

Excel で複数シートに分かれた表を使って計算式を設定した場合、どんな値を参照して計算した結果なのかがすぐに分からず都度確認している、ということはないでしょうか。

E3				fx =SUM(諸経費!C3:C10)+SUM(諸経費!D3:D10)+SUM(諸経費!E3:E10)+SUM(諸経費!F3:F10)				
B	C	D	E	F	G	H	I	
	賃料	電気水道代	その他諸経費					
2017年度合計	449000	187500	609400					

「その他諸経費」が何の項目を計算しているのか、数式だけを見てもわかりません

こんな時はセルの範囲に名前を付けると便利です。

E3				fx =SUM(倉庫使用料)+SUM(ロッカー使用料)+SUM(清掃代)+SUM(その他諸経費)				
B	C	D	E	F	G	H	I	
	賃料	電気水道代	その他諸経費					
2017年度合計	449000	187500	609400					

「その他諸経費」項目の計算式がわかりやすくなりました！

今回は、このセル範囲に名前を付ける機能をご紹介します。

■ 操作方法

下図 <諸経費>シートの数値を参照して、<収入>シートに諸経費の合計を表示させます。

ロッカー使用料				fx 6500				
	A	B	C	D				
1			②	D			①	
2	電気料金	水道料金	倉庫使用料	ロッカー使用料				
3	32000	3000	30000	6500				
4	5000	1000	10000	3000				
5	20000	1600	20000	4500				
6	17000	2000	9000	4200				
7	35000	3000	45000	7000				
8	21000	2500	26800	1800				
9	30000	3000	35000	2500				
10	8900	2500	25000	3000				
11								

① セル範囲に名前を定義するために、計算したい項目の数値を範囲選択します。
今回はロッカー使用料をまとめたいので、上図の<諸経費>シートで「ロッカー使用料」の数値部分を範囲選択します。
② 左上にある名前ボックスをクリックし、名称(今回は「ロッカー使用料」)を入力します。

- ① セル範囲に名前を定義するために、計算したい項目の数値を範囲選択します。
今回はロッカー使用料をまとめたいので、上図の<諸経費>シートで「ロッカー使用料」の数値部分を範囲選択します。
- ② 左上にある名前ボックスをクリックし、名称(今回は「ロッカー使用料」)を入力します。

TEXT	=SUM(倉庫使用料)+SUM(ロッカー使用料)			
B	C	D	E SUM(数値1, [数値2], ...)	
	賃料	電気水道代	その他諸経費	
2017年度合計	449000	187500	ロッカー使用料	

③

収入 賃料 諸経費

- ③ 「その他諸経費」で利用する計算式に、②で入力した項目名を記載して計算式を作成します。
 ※同一シート上のみではなく、別のシートからでも参照可能です。
 上図であれば、〈諸経費〉シートの範囲名称を〈収入〉シートで使用しています。

E3	=SUM(倉庫使用料)+SUM(ロッカー使用料)+SUM(清掃代)+SUM(その他諸経費)							
B	C	D	E	F	G	H	I	
	賃料	電気水道代	その他諸経費					
2017年度合計	449000	187500	609400					

④

- ④ 範囲名称で計算されました！
 ※今回は、〈諸経費〉シートの倉庫使用料などにも名前を付けて計算式を作成しています。

範囲変更や名前変更等の編集、もしくは削除を行いたい場合は、「数式」タブの「名前の管理」をクリックし、「名前の管理」画面を開くと編集ができます。

1

数式

名前の管理

2

新規作成(N)... 編集(E)... 削除(D) フィルター(F)

名前	値	参
その他諸経費	{ "45000"; "3000"; "20000"; "50000"; "86000"; "480..." }	=
ロッカー使用...	{ "6500"; "3000"; "4500"; "4000"; "1800"; "2500"; "30..." }	=
清掃代	{ "20000"; "3500"; "12000"; "10000"; "20000"; "10000"; "170..." }	=
倉庫使用料	{ "30000"; "10000"; "20000"; "9000"; "45000"; "26800"; "350..." }	=

3

参照範囲(R):
 =諸経費!\$F\$3:\$F\$10

閉じる

複数のシートを使用する場合や、大量に計算式がある場合等、どの様な計算をしたかを確認する時に便利かと思えますので是非ご活用ください！